

カスタムビルダーが緊急提言! / EFIチューニングしたら

サスもやらないモッタナイ!

EFIのエンジンはチューニングによって簡単にパワーアップできるが、それだけではハーレー本来の走りの楽しさを引き出すことはできない。パワーに合ったサスペンションに交換することの重要性をカスタムビルダーが語る!

text/Y.Fujita 藤田佳照 photo/H.Yoda 依田裕章
取材協力 / セレクトッドカスタムサイクル東京店
TEL03-6424-8265 www.selected.co.jp
商品問い合わせ / プロト
TEL0566-36-0456 www.plotonline.com

チューニングでエンジンの馬力が上がったなら、パワーを受け止めるサスに変えないと走りにくく感じる
ことがあるんです!

サスペンションの品質が走りの楽しさを決める!

セレクトッド代表 西岡竜一朗さん
カスタムショーで数々のアワードを獲得する人気ビルダー。実はスポーツバイクも好きで、ハーレーでも山道をアグレッシブに攻める!



愛車で2000km走り込んでサスの重要性を実証済み!



TC96をEFIチューニングして約80馬力にパワーアップ。前後サスをプログレッシブサスペンションに交換したら高速道路でもワインディングでも不安定感が消え、断然楽しく走れるようになったそうだ

近年、インジェクションに関わるパーツやチューニングデバイスが急速に増えており、その重要性和説くショップも多くなってきた。東京都大田区に店舗を構える「セレクトッドカスタムモーターサイクル」もEFIに早くから着目していたショップで、まだチューニングができるショップが少なかった頃からシャシーダイナモを導入し、各種デバイスを使ったEFIチューニングを行っている。そんな同店代表でチューナーでもある西岡竜一朗さんは「チューニングはもちろん重要だけど、同時に足回りも見直さなければ本当の意味での走りの楽しさが得られない」と言う。それは一体どういうことなのだろうか?

「純正のフロントサスはそもそもかなりボヨンボヨンで不安定な印象です。例えば



数多くチューニングしてきた経験から、パワーアップだけでなくユーザーの乗り方に合った調整も得意としている

ば凹凸舗装された減速帯を走るといつまでもサスの伸縮が止まらなくて車体をコントロールできない。轍の深い道で車線変更をする時はタイヤが引つ掛かる印象です。ましてやチューニングしてパワーが上がったら、そのパフォーマンスに対して反応が遅く感じるの、いろいろなシチュエーションで怖さが増すんです」

その対策として西岡さんはプログレッシブサスペンションのフロント用モノチューブカートリッジキットと970シリーズのリアサスを推奨する。

「実際、自分のストリートボブに使っているんですが、凹凸に対して素早く動いて路面にしっかりと食いつく印象です。特にフロントはわかりやすく、減速帯では凸凹を一個ずつ

スタムによって崩れたバランスを修正するのにも有効ですね。僕はこの愛車ですでに2000km走ったんですが、どこに行ってもとにかく楽しい! スポーティにコーナーに突っ込んだりもしましたが、曲がりながらでも不安なくスロットルを開けられるくらい車体がピタッと安定しています。ハーレーがスーパースポーツの足回りを手に入れたくらいの効果がありますね」

違いはベテランにしかわからないくらい微妙なのでは? 「そんなことはありません! 最初にブレーキをかけた瞬間からすぐにわかります。特にフロントは純正だとすぐフルボトムしますが、このカートリッジキットなら素早く沈み込みつつ奥の方でしっかりと踏ん張り、元の姿勢に戻ろうとするので自信を持ってブレーキレバーを握れます。実際にブレーキのコントロール性がよくなるので、安全面でのメリットも大きいですね。よく『下りコーナ

ーでブレーキをかけるのが怖い』と言う人がいますが、それもこのキットで解消できます。カスタム費用もフロントだけならパーツ代込みで10万円以下でできるから比較的リーズナブルです。サスをオーバーホールするついでに交換するのいいと思います。フロントだけでも走りの次元が一つ上がるのでハーレーの楽しみ方がグッと広がりますよ。正直言ってEFIチューニングしてるのにプログレッシブサスペンションを使わないなんてもったいない!」

西岡さんのオススメは「プログレッシブ」のハイグレードモデルだ!

プログレッシブサスペンションはローダウンサスのイメージが強いけど、コイツなら別次元の走りになる!



プログレッシブサスペンション 970シリーズ リアサスペンション

広いインシヤル調整幅と20段階の減衰調整機能を備えるハイスベックモデル。パワフルな走りに欠かせない同社の最高級サスだ。対応車種: ダイナ(91~'16 / 12.5、13.5インチ)、スポーツスター('04~'16 / 12、13インチ)、Vロッド('02~'16 / 12.5、13インチ)。オープン価格



減衰調整ダイヤルはリザーバタンクに装備。これを使えばバネの動くスピードを調節して乗り味を変えられる

プログレッシブサスペンション モノチューブ カートリッジキット

ダンパーとスプリングの機能を左右に分けたキット。純正スプリングと交換するだけで足回りの剛性が高まってスポーティな走りが入る。ブレーキやコーナーでの不安も解消できるのだ! 対応車種: ツーリング('14~'16 / ローダウン設定あり)、ダイナ('06~'16)。オープン価格



フォークスプリング側のトップキャップにはプリロード調整機能が備わっており、簡単に調整が可能だ

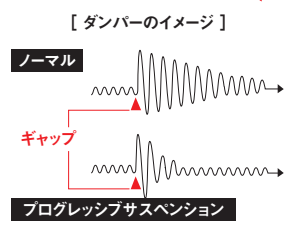
「プログレッシブ」で走りが変わる理由とは?



ダンパーがしっかり効くから凸凹の路面でも安定感抜群! ブレーキも掛けやすいんです。



減速体走るとダンパーの良さがよく分かる!



ノーマルよりもギャップの衝撃を素早く吸収するから、凸凹の路面でも穏やかに安定して走ることができるのだ



ライダの体重や乗り方に合わせたセッティングができます。



付属レンチでスプリングの締め具合を調整して固さを変える



体重やエンジンパワーによってサスにかかる荷重が変わるが、調整機構があればこれを最適に調整できるのだ



調整機能をうまく使えばカスタムによって崩れた車体バランスを修正できます!

フォークのレイクやインギアーム交換などのハードなカスタムで車体バランスが変化すると、サスにかかる力の向きが変わって動きが悪くなる。そんな場合でも調整機能を上手に使えばスムーズに動くようになる。高性能サスはカスタムにも有効なのだ!



例えばレイク角の変更などにアジャストできる!